

みんなで観たい話題作

9月30日(土) 19:30～ 新皇劇場

「わたしの幸せな結婚」

明治・大正期を思わせる架空の時代。斎藤美世は実母を早くに亡くし、継母と義妹に虐げられながら暮らしていた。ある日、彼女は名家の当主である久堂清霞のもとへ嫁入りを命じられる。類まれな美貌を持つ清霞は冷酷で無慈悲な性格で知られ、これまでに多くの婚約者候補が逃げ出したと噂されていた…。豊木あくみによる大ヒット和風ファンタジー小説

監督：塚原あゆ子 原作：豊木あくみ 脚本：菅野友恵
製作：2023年 配給：東宝 時間：115分
©2023映画「わたしの幸せな結婚」製作委員会

9月25日(月) 14:00～ 新皇劇場

「ぼけますから、よろしく願います。おかえりお母さん」

信友直子監督が丹念に記録した2018年公開のドキュメンタリー「ぼけますから、よろしく願います。」の続編。2018年、母の認知症はさらに進行し、ついに脳梗塞を発症してしまう。入院した母に面会するため、父は毎日1時間かけて病院へ通い、いつか母が帰ってくる時のためにと筋トレを始める。

監督：信友直子 プロデューサー：濱淵 大島新 堀治樹
製作：2022年 配給：アンプラウド 時間：101分

©2022「ぼけますから、よろしく願います。おかえりお母さん」製作委員会

9月26日(火) 14:00～ 新皇劇場

「咲む」

看護師試験に合格したろうの女性の瑞月(みづき)は、就職活動で苦戦。そんな折、ある村の診療所で雇われる話が舞い込み、意気揚々と村にやってきた瑞月。しかし、採用を見送られることになり、落ち込む瑞月に役場からの仕事の紹介が…。村に住みながら懸命に取り組みむ瑞月だったが、様々な壁が瑞月を阻んでいく。

全日本ろうあ連盟創立70周年記念映画。
監督：早瀬憲太郎 製作総指揮：石野富志三郎
製作プロダクション：株式会社ターゲット 2018年
時間：115分



交流パーティのお知らせ

ゲスト監督や映画祭の関係者と交流できるパーティを開催します。

会場：アンダンテ(茅野市民館内)

時間：9/30 19:30 から

会費：1人3,000円

(食事・ドリンク込み)

市民館中庭でのおもてなし

市民館中庭でのおもてなしが、コロナ禍から復活。今回の映画祭から再開します

会場：茅野市民館中庭

日程：9/30、10/1

市民館中庭では、その他マルシェイベントなどを企画しています。

夢科から羽ばたいた監督作品

10月1日(日) 11:45～ 新皇劇場



「シュナイドマンの憂鬱」

人生に絶望した男が断崖絶壁に辿り着く。そこへ奇妙な人々が突然現れ、飛び降りたい男をそれぞれに見つめる。新緑の美しい岩壁で歌い踊るにぎやかなラップ、予測のつかない不思議な展開。

シニカルで、きわめて騒がしい短編コメディ。

ゲスト：古本恭一監督(1日)

監督：古本恭一 出演：大和田伸也 時間：20分

話題の海外作品

9月27日(水) 19:00～ 新皇劇場

「フェイブルマンズ」

「ジョーズ」「E.T.」「ジュラシック・パーク」など、世界中で愛される映画の数々を世に送り出してきた巨匠スティーブン・スピルバーグが、映画監督になるという夢をかかえた自身の原体験を映画にした自伝的作品。初めて映画館を訪れて以来、映画に夢中になった少年サミー・フェイブルマンは、母親から8ミリカメラをプレゼントされる。

監督：スティーブン・スピルバーグ 製作：2022年
アメリカ映画 配給：東宝東和 時間：151分 PG12
©2022 Universal Pictures. ALL RIGHTS RESERVED.



9月25日(月) 10:00～ 新皇劇場 9月30日(土) 19:30～ 茅野市民館

「コーダ あいのうた」

Children of Deaf Adults= “耳の聴こえない両親に育てられた子ども”

海の町でやさしい両親と兄と暮らす高校生のルビー。彼女は家族の中で1人だけ耳が聞こえる。幼い頃から家族の耳となったルビーは歌業の漁業も毎日欠かさず手伝っていた。新学期、合唱クラブに入部したルビーの歌の才能に気づいた顧問の先生は、都会の名門音楽大学の受験を強く勧める。

監督：シアン・ヘダー 製作：2021年 111分/PG12
配給：ギャガ 時間：112分 アメリカ・フランス・カナダ合作
©2020 VENDOME PICTURES LLC, PATHE FILMS



9月25日(月) 19:00～ 新皇劇場

「いつかの君にもわかること」

疚拭き清掃員として働きながら、4歳の息子を男手ひとつで育てる33歳のジョン。不治の病に冒され余命宣告を受けた彼は、養子縁組の手続きを行い、自分が亡き後に息子が一緒に暮らす“新しい親”を探し始めるために奔走するヒューマンドラマ。

監督：ウベルト・パズリーニ 製作：2020年 時間：96分
イタリア・ルーマニア・イギリス合作

©2020 picomedia srl digital cube srl nowhere special limited rai cinema spa red wave films uk limited avanpost srl



9月24日(日) 18:00～ 新皇劇場

「パリタクシー」

無愛想なタクシー運転手シャルルは、金も休みもなく免許寸前で人生最大の危機。そんな折92歳の女性マドレーヌをパリの反対側まで送ることに。終途に向かうというマドレーヌは、シャルルに次々と寄り道を依頼する。そして寄り道をするたびに、マドレーヌの意外な過去が明らかになっていく。

監督：クリスチャン・カリオン 製作：2022年 配給：松竹 時間：91分 フランス

©2022 - LINE HIRONDELLE PRODUCTIONS, PATHE FILMS, ARTÉMIS PRODUCTIONS, TF1 FILMS PRODUCTION



9月23日(土) 18:00～ 新皇劇場

「響け! 情熱のムリダンガム」

インドのチェンナイで暮らすムリダンガム職人の息子ピーターは、父が作ったムリダンガムを巨匠が演奏するのを見たことがきっかけで、自身もその奏者になりたいと思ひ、巨匠に弟子入りし修行に励む。カースト差別や伝統芸能の継承に伴う軋轢、世代間の意見の違いなど困難にあいながらも、情熱と敬意をもって立ち向かっていく。

監督：脚本：ラーゼーブ・メーナン 製作：2018年 インド映画

配給：テンドラ(南インド料理店など) 時間：131分

©Mindscreen Cinemas



お子様と一緒に

9月23日(土) 14:00～ 新皇劇場

10月1日(日) 13:00～ 新皇劇場

「すずめの戸締まり」

九州で暮らす17歳の岩戸鈴芽(すずめ)は、扉を探しているという旅の青年・宗像草太と出会う。彼の後を追って山中の廃墟にたどり着いたすずめは、古びた扉を見つけ、引き寄せられるようにその扉に手を伸ばす。扉の向こう側からは災いがやって来るため、すずめは扉を閉める「戸締りの旅」に出ることに。

監督・原作・脚本：新海誠 製作：2022年 配給：東宝 時間：122分
©2022「すずめの戸締まり」製作委員会



9月30日(土) 9:30～ 茅野市民館

「ミニオンズ・フィーバー」

最強最悪のボスに仕えることを生きがいとするミニオンたちが、なぜ怪盗グルーをボスに選んだのか、そしてグルーはどのようにして月を盗むほどの大悪党になったのかの謎が明らかになる。ミニオンたちはミニボスとして崇拜する11歳の少年グルーのもとで日々悪事を働いていたが、グルーが何者かにさらわれてしまう。

監督：カイル・バルダ 共同監督：ブラッド・エイブロン
ジョナサン・デル・バル 製作：2022年 配給：東宝東和 時間：88分
©2021 Universal Pictures and Illumination Entertainment. All Rights Reserved.



9月24日(日) 10:00～ 新皇劇場

10月1日(日) 9:30～ 新皇劇場

「ドラえもん のび太と空の理想郷」

空に三日月形の島を見つけたのび太は、ドラえもんたちと秘密道具の飛行船で島を探しに行く。色々な時代・場所をめぐる見つけたその島は、誰もかパーフェクトになれる楽園だった。のび太たちは完璧なネコ型ロボット・ソーニャに出会うが、島には秘密があり……

監督：堂山卓見 原作：藤子・F・不二雄
製作：2022年 配給：東宝 時間：108分
©藤子プロ・小学館・テレビ朝日・シンエイ・ADK 2023



まだまだ話題の海外作品

10月1日(土) 16:00～ 茅野市民館

「RRR」

1920年、英国植民地時代のインド。英国軍にさらわれた幼い少女を救うため立ち上がったビームと、大義のため英国政府の警察となったラーマ。それぞれに熱い思いを胸に秘めた2人は敵対する立場にあったが、互いの素性を知らずに、運命に導かれるように出会い、無二の親友となる。しかし、ある事件をきっかけに、2人は友情が使命かの選択を迫られることになる。

監督：S・S・ラージャマウリ 製作：D・V・V・ダナイヤ
製作：2022年 インド 配給：東宝 時間：179分

©2021 DVV ENTERTAINMENTS LLP.ALL RIGHTS RESERVED.



第62回日本映画監督協会新人賞受賞作品

9月29日(日) 19:00～ 新皇劇場

「さがす」

大阪の下町に暮らす原田智と中学生の娘・楓。「指名手配中の連続殺人犯見たんや。捕まえたら300万ももらえるで」と言う智の言葉を、楓はいつもの冗談だと聞き流していた。しかし、その翌朝、智が忽然と姿を消す。

監督・脚本：片山慎三
製作：2022年/123分/PG12/配給：アスミック・エース
©2022「さがす」製作委員会

